Miyazaki International College

Course Syllabus

|  |  |
| --- | --- |
| Course Title ( Credits ) | EDU319：英語科教育法４(2 credits) |
| Course Designation for TC | 教員の免許状取得のための必修科目  【科目】  教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校　英語)  【各科目に含めることが必要な事項】  各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） |
| Content Teacher | |
| Instructor | 樋口　晶彦（単独） |
| E-mail address | ahiguchi@sky.miyazaki-mic.ac.jp |
| Office/Ext | 1-413 |
| Office hours | オフィスのドアに記載されています。 |
| Language Teacher | |
| Instructor |  |
| E-mail address |  |
| Office/Ext |  |
| Office hours |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Course Description: | | |
| 中学校及び高等学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身に付ける。英語科教育法Ⅰ～Ⅳの最後の科目であり、英語科教育の基礎的な事項及び必修の項目を土台として学習指導案の作成、特にICTを導入した模擬授業、異文化理解導入の模擬授業などが中心となる。特に現行の学習指導要領の理解と伝達重視の英語教育に基づいた四技能の指導と評価、異文化理解教育などの知識と授業、学習評価の基礎を理解してそれらを学習指導案に反映させて実際の模擬授業で実践力を身に付けること。  【全体目標】  中学校及び高等学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身に付ける。 | | |
| Course Objectives: | | |
| 【一般目標】  (1)カリキュラム／シラバス  中学校及び高等学校の英語教育の基軸となる学習指導要領及び教科用図書（教科書）について理解するとともに、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解する。また、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領並びに教材、教科書について知るとともに、小・中・高等学校の連携の在り方について理解する。  (2)生徒の資質・能力を高める指導  中学校及び高等学校における３つの資質・能力を踏まえた「５つの領域」（「聞くこと」「読むこと」「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」及び「書くこと」）の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身に付けるとともに、複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身に付ける。また、教材やICTの活用方法を知るとともに、英語による授業展開やALT等とのティーム・ティーチングの方法について理解する。さらに、生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。  (3)授業づくり  中学校及び高等学校の学習到達目標に基づく各学年や科目（高等学校）の年間指導計画・単元計画・各時間の指導計画及び授業の組み立て方について理解するとともに、学習指導案の作成方法を身に付ける。  (4)学習評価  中学校及び高等学校における年間を通した学習到達目標に基づく評価の在り方、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規準の設定、さらに、評定への総括の仕方について理解する。また、言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。特に、「話すこと［やり取り・発表］」及び「書くこと」については、「パフォーマンス評価」（生徒が実際に話したり書いたりする活動の過程や結果を評価する方法）について理解する。  (5)第二言語習得論  学習者が第二言語・外国語を習得するプロセスについて基礎的な内容を理解して授業指導に生かすことができる。  【到達目標】  (1)カリキュラム／シラバス  1)中学校及び高等学校の外国語（英語）の学習指導要領について理解している。  2)中学校及び高等学校の外国語（英語）の教科書について理解している。  3)学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の３つの資質・能力（以下、「３つの資質・能力」という）とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。  4)小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教科書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。  (2)生徒の資質・能力を高める指導  1)聞くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  2)読むことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  3)話すこと［やり取り・発表］の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  4)書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  5)複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  6)英語の音声的な特徴に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  7)文字の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  8)語彙、表現に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  9)文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  10)異文化理解に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  11)教材及びICTの活用について理解し、授業指導に生かすことができる。  12)英語でのインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。  13)ALT等とのティーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。  14)生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。  (3)授業づくり  1)学習到達目標に基づく授業の組立てについて理解し、授業指導に生かすことができる。  2)学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。  (4)学習評価  1)観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。  2)言語能力の測定と評価（パフォーマンス評価等を含む）について理解し、指導に生かすことができる。  (5)第二言語習得論  1)第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。 | | |
| Course Schedule | | |
| Day | Topic, Content/Activities | |
| 1 | コースの概要説明、参考文献の提示（授業の進め方、予習方法についての説明） | |
| 2 | 小学校外国語活動、正課としての英語教育へ向けた現状とこれから | |
| 3 | 小学校外国語活動と中学校英語教育との小中連携（実例から学ぶ）（目標(1)-4),(3)-1),2)） | |
| 4 | 学習指導案（ICT導入の小学校外国語活動略案の作成）基本事項の確認（目標(1)-3),4),(2)-11),(3)-1),2),(4)-1),2)） | |
| 5 | 学習指導案（ICT導入の小学校外国語活動略案の作成）作成（目標(1)-3),4),(2)-11),(3)-1),2),(4)-1),2)） | |
| 6 | 学習指導案（ICT導入の中学校・高等学校外国語細案の作成）基本事項の確認と模擬授業（目標(1)-1),2),3),(2)-11),(3)-1),2),(4)-1),2)） | |
| 7 | 学習指導案（ICT導入の中学校・高等学校外国語細案の作成）作成と模擬授業（目標(1)-1),2),3),(2)-11),(3)-1),2),(4)-1),2)） | |
| 8 | 模擬授業の実施（ICT導入の小学校外国語活動）授業研究(指導の観点から)（目標(1)-3),(4)-1),2)） | |
| 9 | 模擬授業の実施（ICT導入の小学校外国語活動）授業研究(評価の観点から)（目標(1)-3),(4)-1),2)） | |
| 10 | 模擬授業の実施（ICT導入の中学校・高等学校外国語）授業研究(指導の観点から) （目標(1)-1),2),3),(2)-11),(4)-1),2)） | |
| 11 | 模擬授業の実施（ICT導入の中学校・高等学校外国語）授業研究(評価の観点から) （目標(1)-1),2),3),(2)-11),(4)-1),2)） | |
| 12 | 模擬授業の実施（ICT導入のTeam Teaching）授業研究(指導の観点から)（目標(1)-1),2),3),(2)-11),12),13),(4)-1),2)） | |
| 13 | 模擬授業の実施（ICT導入のTeam Teaching）授業研究(評価の観点から)（目標(1)-1),2),3),(2)-11),12),13),(4)-1),2)） | |
| 14 | ICT導入の授業、授業研究における課題(模擬授業の振返りと教材研究) | |
| 15 | 授業の総まとめ | |
|  | 期末試験 |  |
|  | | |
| Required Materials: | | |
| テキスト：『21世紀の英語科教育』　開隆堂  参考書：JACET教育問題研究会（編）『英語科教育の基礎と実践』　三修社　ISBN: 978-4-384-05682-2  『中学校学習指導要領解説（最新版）外国語編』『高等学校学習指導要領解説（最新版）外国語編』  『中学校学習指導要領（最新版）』『高等学校学習指導要領（最新版）』  参考資料等：授業内でプリントを配布する。 | | |
| Course Policies (Attendance, etc.) | | |
| 教職を目指す学生として教員の崇高な使命をよく理解するよう努めることが肝要である 。 授業は欠席や遅刻をすることなく 積極的に参加するように心がけること。 特に、 時間に凡帳面であることと、 日常生活の態度 （ あいさつ、 身なり 、 言葉遣い等） には気をつけること。 教員採用試験に向けて教職教養の勉強をしっかり して力をつけること。 | | |
| Class Preparation and Review | | |
| Students are expected to spend at least one hour reviewing and doing homework and one hour preparing for every hour of lesson time.  （事前・事後学習として週４時間以上行うこと。）  予習：テキストの指定された箇所を読んで、内容をまとめた上で授業に臨んでください。 | | |
| Grades and Grading Standards | | |
| 学期末試験(２０％)、課題レポート等(３０％)、模擬授業（５０％）  講義全体の三分の一以上の欠席は自動的に評価の対象外となる。 | | |
| Methods of Feedback: | | |
| レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。  ・コメントを記載して返却する。  ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。  ・答案例を配布する。 | | |
| Diploma Policy Objectives: | | |
| Work completed in this course helps students achieve the following Diploma Policy objective(s):  3. The ability to identify and solve problems  4. Advanced communicative proficiency in both Japanese and English | | |
| Notes: | | |
| 真剣に授業に取り組むこと。英語科教育法の基本的な最初の科目であり、課題、内容ともかなりの努力を要することを銘記しておくこと。 | | |